

令和8年3月13日

対馬市議会議長 春田 新一 様

予算審査特別委員会
委員長 針谷 広己

委員会審査報告書

本委員会に付託された、議案第15号 令和8年度対馬市一般会計予算について、審査の結果、次のとおり決定しましたので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

1. 付託事件

事件番号	件名	審査の結果
議案第15号	令和8年度対馬市一般会計予算	原案可決

2. 審査の概要

- (1) 審査月日 令和8年2月26日～3月3日（4日間）
- (2) 審査場所 対馬市議会議場
- (3) 欠席委員 なし

3. 審査の経過 別紙のとおり

別紙

審査の経過

令和8年第1回対馬市議会定例会において、会議規則第37条の規定により、本委員会に付託されました「議案第15号 令和8年度対馬市一般会計予算」について、審査の経過と結果を、同規則第110条の規定により、次のとおり報告いたします。

委員会は、令和8年2月26日から3月3日までの4日間、対馬市議会議場において、担当部長等関係職員の出席を求め、細部にわたり説明を受け、審査を行いました。

また、3月3日の最終日には、市長の出席を求め、統括質疑を行いました。以下、審査の概要について報告いたします。

令和8年度の一般会計の歳入歳出予算の総額は、令和7年度当初予算と比較してマイナス3.9%の328億7,800万円となっています。対馬市の財政状況は、3年連続実質単年度収支が赤字であり、進行中の大型公共事業や老朽化が進む公共施設の改修などにより財源不足が生じ、基金の取り崩しが顕著となっています。

歳入予算について、自主財源である市税は、賃上げの実現等の最近の経済状況を踏まえた上で、個人市民税と法人市民税の小幅な増収を見込み、対前年度比プラス2.1%の約30億6,600万円を計上しています。地方交付税は、令和8年度分の配分・算定方法が不明瞭な状況であることを考慮し、対前年度比プラス0.5%の約137億1,500万円、国庫支出金は、約44億円、県支出金は、約29億1,800万円計上されています。

その他の主な歳入として、財政調整基金、減債基金、合併振興基金などから約35億8,200万円を繰り入れるほか、財源補填がある辺地対策事業債、過疎対策事業債、緊急自然災害防止対策債など約26億4,000万円の市債が計上されています。

基金の繰入金は前年度比マイナス4.6%となっているものの、歳入に占める構成比率は前年度と大きく変わっておらず、依然として基金に頼らざるを得ない財政状況となっています。

歳出予算について、人件費は、人事院勧告による職員及び会計年度任用職員の給与の増により、対前年度比プラス1.4%の約51億7,000万円が計上されています。

物件費については、予算査定において旅費等の支出を抑えた結果、対前年度比マイナス1.4%の約66億5,000万円となっております。

普通建設事業費については、市道改良事業費など単独事業の大幅な減により、対前年度比マイナス17.3%の約51億円となっております。

公債費については、元利償還金合算で、昨年度とほぼ同額の約48億6,000万円が計上されています。

当初予算全体の総額が減額する中での主な新規事業は、コンビニ交付対応行政キオスク端末導入事業、豆殿地区避難施設開設事業、2050年世界最先端のサステナブルアイランド推進事業、未利用魚等利活用推進事業、対馬オールインワン構築事業、トンネル照明更新事業、まちづくり交付金事業などがあります。

なお、最終日の3月3日には、午後から市長に対する総括質疑を行い、委員からは、以下の質疑応答がありました。

今回の予算編成の総括・編成のポイントに対しては、市民の要望等をできるだけ聞きながら、SDGs関係やインフラ整備等に必要な予算を組んだということです。また、施政方針で示された市民の所得向上については、観光産業、観光客の誘致による所得向上に努めるとのことでした。

公共施設の個別計画の改定については、市内に約830箇所の施設があり、取捨選択をしながら老朽化が進む施設は除却していくとのことでした。

令和元年度以降、定期監査において不適切な事務処理の指摘が繰り返されていることについては、予算の執行時の注意点に気をつけて職務に励むよう指導しているとのことでした。

実質単年度収支が3年連続の赤字かつ将来負担比率が5年連続の悪化の状況における、当初予算での基金の取り崩しについては、将来に向けた投資や市民の要望に対応するため取り崩しを行ったとのことでした。また、次年度以降の基金の取り崩しについては、今後のさらなる人口減少による地方交付税の増額が見込めない中、厳しい状況だと認識しているとのことでした。

総括質疑後は、委員から「採決の先延ばしまたは付帯決議」「令和8年度当初予算における財政調整基金の穴埋め」についての議員間討議の提案がありました。

議員間討議では、対州海運及び対馬地域商社の決算状況の確認の必要性や財政調整基金を含めた基金全体の状況を踏まえた財政規律について議論されました。

その後、1名の委員から財政規律の遵守・将来世代への責任の観点からの反対討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

また、少数意見の留保の申し出がありましたが、賛成者がなく成立しませんでした。

以上で、予算審査特別委員会の審査報告といたします。